



長野市立博物館

3月：S様へ掛軸 442 点を返却



3月：奈良県橿原考古学研究所 中尾先生  
一紙物の開披が難しい資料の処置に感動



3月：処置済文書の撮影  
撮影者と撮影台の操作者の二人作業



3月：国立歴史民俗博物館 天野先生ご来館  
レーヨン紙を使った応急処置のレクチャー

6月：中央大学 山崎先生より紀要の講義  
処置した資料からわかる江戸時代の暮らし



# 市民ボランティアと博物館 進化する連携と技術 2024

7月：巻子の処置で橋出現  
付箋の仮止め作業



7月：博物館燻蒸後に文書のカビ払い  
1頁ずつ行う根気のいる単調な作業



8月：博物館実習生10名体験  
活動の経緯を説明



## 「洪水の痕跡を伝える妙笑寺と千曲川」 見学会参加

令和元年東日本台風で千曲川が決壊した地点近くの妙笑寺で行われた見学会に参加。グループで処置した資料もあり、活用されていることに感謝



洪水の到達点を示す柱



繰り返し襲った洪水の歴史



9月：山崎先生&ゼミ生参加  
資料の内容に興味津々



11月：天理大 藤田先生ご来館  
能登・東北・栄村の文化財レスキュー  
のお話しと作業のレクチャー



年代ごとに異なる川の流れ



今なお確認できる痕跡

\* 令和元年東日本台風による被災から5年2カ月経過。  
ボランティア参加者 延べ4,646人  
ご協力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます